

稲発酵粗飼料を給与した「はまさり牛」のブランド化

飼料イネの普及・定着には、稲発酵粗飼料を給与して生産された畜産物の品質向上と安定供給によるブランド化、及び販売ルートの定着化が求められます。

そこで、稲発酵粗飼料を給与した牛肉をブランド化するため、ブランド形成のための手順を作成するとともに、販売ルートの確保、市場評価に基づく肥育技術の改善、実需者・消費者ニーズに合った品質での牛肉安定供給などを実施し、枝肉販売価格の上昇による生産者所得の増加が期待される牛肉のブランド化モデルを実証しました。

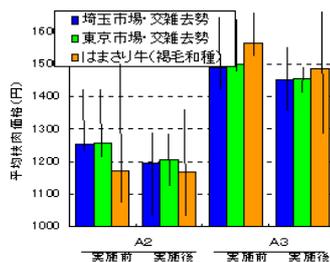
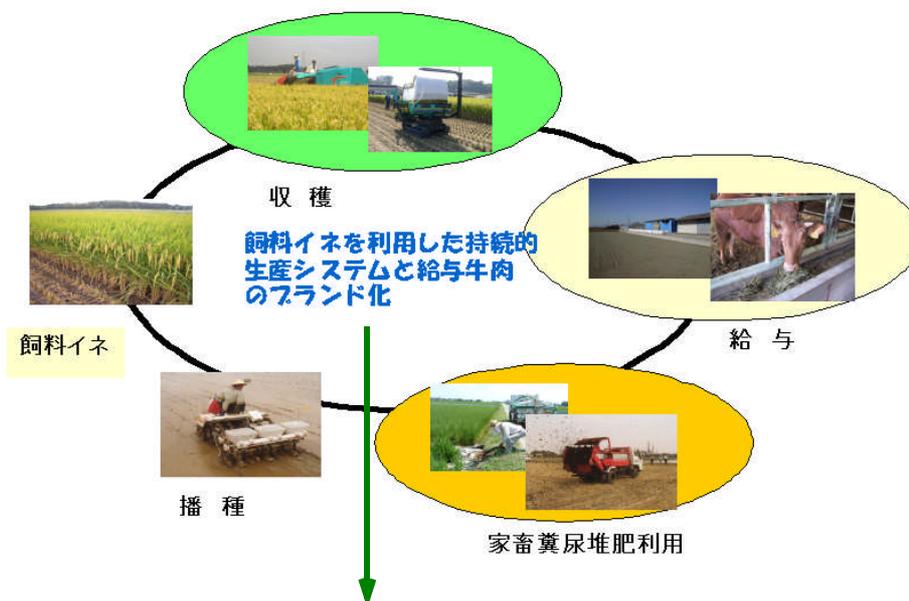


図2. ブランド化実施前後の枝肉価格

さいたま中央食肉市場の取引評価

ブランド化後の枝肉価格は、価格のバラツキ幅を小さくし、等級の高いものほど価格差を縮小しました。



はまさり牛をお肉屋さん、レストランで！